

# Youth Manna

マルコ1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2023/6/19(月)

## ヨシュア19:24-51

アシェル族、ナフタリ族、ダン族、そしてヨシュアへの相続地の割り当てをして、イスラエルは地の割り当てを終えた(51)。だけど、実際には彼らはその割り当て地を支配することはできなかったんだ。

その結果、その地に残された偶像礼拝が入り込んだり、逆に攻め込まれたりして、イスラエルは後に非常に苦しむことになるよ。

●神様が与えた割り当て地を、彼らが支配できなかった理由はなんだろう？考えてみよう。

●神様に語られていることで、先延ばしにしてしまっていることはないかな？心を定めて従おう！

2023/6/20(火)

## ヨシュア20章

神様はヨシュアに「逃れの町」を定めるように命じた。どのような意図なのかは3節に書いてあるね。「人が殺された」という結果は同じでも、意図的なのか、誤ってなのかによって、殺人者が受けるさばきを変えたんだ。神様は人の心を見ておられるんだね。

イエス様は後に、天の父なる神様の心を群衆に説き明かしたよ。それは外側の行為(殺人)に至るまでの、人の心に起きていることを神様が見ておられるということだった。マタイ5:21,22を読んでみよう。

心を見ておられる神様の前で、君は今日どのように歩む？神様が君に望んでいる生き方について考えてみよう！

2023/6/21(水)

## ヨシュア21:1-26

今日の箇所には、レビ族への「住む町と家畜の放牧地」の割り当てが記されている。レビ族は、「主ご自身が、彼らのゆずりである」とされ、「主の御名によって奉仕に立つために」選ばれた者たちである(申命18:2,5)。彼らの生活費は民全体が献げる収入の十分の一であった。

レビ族は、それぞれの家族と家畜のため、住む場所と放牧地が必要であった。彼らは氏族ごとにイスラエルの十二部族の相続地の中に点在するように放牧地が割り当てられた。彼らは置かれた地でイスラエルの民が主との交わりを正しく築けるように導く責任があったのである。

レビ人の生活は、イスラエル全体にどんな意味があったかを考えてみよう！

2023/6/22(木)

## ヨシュア21:27-45

今日の箇所も昨日とほぼ変わらず分配された土地のリストとなっている。

45v. 神様が告げられたことは「一つもたがわず、すべて実現した」とある。

しかし、考えてみるとモーセがイスラエルを引き連れてエジプトを脱出し、約束の地カナンへと向かい、ヨシュアがその働きを引き継いで成し得た長い道のりがある。それは最初に約束を与えられた世代とは違う。

私たちも神様の約束を信じ、期待して歩み中で神様は常に共にいるが、祈りや期待がすぐに叶えられるものではないのかも知れない。全てには神様の計画がある。

ただただ変わる事のない神様の約束、真理に思いを向けよう！！

2023/6/23(金)

## ヨシュア22:1-20

●1-6v ルベン、ガド、マナセの三部族は応援部隊として来ていた。その労苦にヨシュアは何と声をかけてる？→3v

●君は最近誰かのために時間を使ったり、気を配ったりしたことがあるんじゃないかな？神様はそのことを知っている。ヨシュアのようにねぎらってくれるんだ。3vのみことばは、君へのことばでもあるんじゃないかな？

2023/6/24(土)

## ヨシュア22:21-34

ルベン族、ガド族、マナセの半部族は主に奉仕する祭壇をつくったね。その理由は自分の子どもたちが、イスラエルの民として神様との関係があることを周りからも認められるためだった。そこには将来どうなるか分からない不安などもあったけれど、それをオープンに分かち合った時、祭司や族長たちからも納得してもらうことができ、人々は対立することなく、改めて一つになることができたんだ。

自分の弱いと思うところ、心配なことも素直に友だちに分かち合い祈り会おう！そして、神様が語ってくれていることを受け取り、従っていこう！

2023/6/25(日)

## ヨシュア23章

ヨシュアはイスラエルの長老たちを集め、モーセの律法の書に記されていることをことごとく忠実に守り行うようにと語った。

その中心にあったのは、神を愛すること、隣人を愛すること、他の神々に心を寄せないことだった。

私たちの生き方の中心には何があるだろうか。あなたが愛している、大切にしているもの、自分自身の真ん中にあるものは何か、静まって考えてみよう。